

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-1-3		事業名	地域の縁結び事業			
担当	市民まちづくり局地域振興部市民自治推進室市民自治推進課 大島 211-2253						
全体計画							
事業内容	<p>「自分たちの地域のことは地域で考え、決め、そして行動する」という市民自治による、市民が主役のまちづくりを進めるとともに、地域における市民同士の支え合いを構築するには、担い手の育成・発掘とその担い手をボランティアなどを求める団体、個人に適切につなぐ仕組みづくりが必要である。</p> <p>このことから、きっかけとなる参加促進行事や実践的活動紹介から体験、仲間づくりまでを総合的に実施する研修等を実施することにより、人材の発掘・育成を行うとともに、行事などの情報や団体の情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信し、活動の担い手と担い手を求める団体や個人との調整・結びつけを行うなど、地域のまちづくり活動(1)の更なる活発化を図るための総合的な仕組みを構築する。</p> <p>1 地域一斉清掃や植栽などの環境美化活動や子どもやお年寄りの見守り活動など、地域(まち)が抱えている課題に対応して、さまざまな活動の実践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動。</p> <p>2 さまざまな市民まちづくり活動(3)団体が集まって、日ごろの活動成果などを皆さんにお伝えする行事。</p> <p>3 町内会活動など、市民の皆さんが営利を目的としないで市内において自発的に行う公益的な活動。</p>			<年度別の事業内容>			
				<p>19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 全区でまちづくり参加・入門教室開講 まちづくり活動事例調査実施 <p>20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 全区でまちづくり参加・入門教室開講 まちづくりフェスタ(2)を活用した参加のきっかけづくり行事の実施 総合的なまちづくり情報発信ホームページ開設 ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討 <p>21~22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 全区でまちづくり参加・入門教室開講 まちづくりフェスタを活用した参加のきっかけづくり行事の実施 総合的なまちづくり情報発信ホームページ運営 ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討 			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>まちづくり参加・入門教室開講</p> <p>これまでまちづくり活動への参加が少ない団塊の世代などを対象に、参加への不安解消、まちづくりに関する基本的知識の習得、実践的活動体験、仲間づくりなどを総合的に行う講座を、元気なまちづくり支援事業(4)の予算を活用し、各区の創意工夫により全区で実施した。</p> <p>まちづくり活動事例調査</p> <p>他の地域や団体へ波及させることや市民に活動の必要性や楽しさを伝えることを目的として、市内で行われている先進的・特徴的なまちづくり活動事例の調査を実施</p> <p>ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討</p> <p>類似事業を実際に行っている民間団体等からの聴き取り調査などにより、ボランティア活動などに参加する道筋、地域の実態や需要の把握手法、調整方法、担い手に求められる要素等の分析を行い、仕組みづくりに向けた検討を実施。</p> <p>4 区の創意や裁量によって、区の課題を解決するための活動を行う事業。全市で4億2千万円の予算を計上しており、その使途は原則的に各区長の判断に委ねている。</p>			<p>まちづくり参加・入門教室開講</p> <p>全区で元気なまちづくり支援事業を活用して実施。19年度より参加者に広がりを持たせられるよう、各講座の定員拡大や実施回数などの内容強化を図る。さらに、受講後の仲間づくりや交流の促進支援、情報提供等を通じ、実践活動への継続的な参加を促す仕組みづくりを目指す。</p> <p>まちづくりフェスタを活用した参加のきっかけづくり行事の実施</p> <p>まちづくりフェスタの場を活用し、参加のきっかけとできる行事を実施。参加入門教室受講や受講後の活動へのきっかけと位置付ける。</p> <p>総合的なまちづくり情報発信ホームページ開設</p> <p>市民活動サポートセンター(5)ホームページを作り変えて、行事などの情報や団体情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信するホームページを開設。</p> <p>ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討</p> <p>類似事業を実際に行っている民間団体等からの聴き取り調査等を行いながら仕組みを検討し、可能であれば一部地域で実験的に実施する。</p> <p>5 市民まちづくり活動団体を支援することを目的として、市が北区北8条西3丁目のエルプラザ2階に設置している施設。打ち合わせコーナーや有料で貸出す事務ブース、印刷機などがある。</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
まちづくり参加入門教室の開催数		-	10回 (1区1回)	10回 (1区1回)	20回 (1区2回)	20回 (1区2回)	20回(1区2回) (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>参加・入門教室における活動体験などは、各区の創意や裁量により、既存事業(交通安全、植樹など)への参加など様々な手法により行われており、地域でまちづくり活動を行っている市民の協力のもとに実施されている。</p> <p>企業等との連携・協働</p> <p>[人材協力] まちづくり参加・入門教室の実施にあたっては、町内会など地域で実際にまちづくりを行っている様々な団体にご協力いただいている。また、ファッションや音楽など民間のアイデアが生かされている例もある。</p> <p>[情報協力] まちづくり活動事例の調査については、取材への対応など、町内会等の地域の様々な団体にご協力をいただいている。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <p>まちづくり参加・入門教室については、お仕事をされている市民の方々にも参加していただきやすいように、夜間や土日に開催するなどの配慮をしている。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		2-1-3		事業名	地域の縁結び事業		
評価(成果)				課題			
<p>まちづくり参加・入門教室 10区合計で約600名(公開講座含む)が参加し、受講者の中から、実際に活動に継続的に参加されるようになった方や役員等に就任する方が出てくるなど、新たな担い手の参加促進につながった。</p> <p>まちづくり活動事例調査 町内会など地域で実際に活動されている団体のご協力を得て、約230の事例(まちづくりセンター単位の活動事例約160、市民活動団体の活動事例約70)について調査することができ、総合的なまちづくり情報発信ホームページ開設に向けた素材を収集することができた。</p> <p>ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討 実際に類似事業を実施している民間団体等の聞き取り調査などにより、ボランティア活動などに参加する道筋、地域の実態や需要の把握手法、調整方法、担い手に求められる要素等の分析を行うことができ、今後のボランティアをしたい人と求める人を調整し、繋ぐための仕組みづくりに向けた、土台を整えることができた。</p>				<p>本市では少子高齢化が急速に進展している一方、厳しい財政状況のもと、行政で対応できる分野にも限界があり、今後の地域福祉の推進には地域内での支えあいが欠かせない。しかし、市民の自主的、自発的活動だけでは、市民同士で支えあうための安定・持続的な仕組みを構築することは困難であり、行政として地域の活動を支援する仕組みの構築が急がれている。</p> <p>19年度市政世論調査によると、まちづくりに参加したいという意向を持った市民は74.5%もの高い割合になっている一方、実際にまちづくり活動に参加したことがある割合は4割程度となっている。これら参加への意向を持ちながら、実際には参加していない市民に実際の活動の担い手となっていただくためには、活動への参加に必要なさまざまな情報をわかりやすく総合的に発信するとともに、担い手を求める団体や個人と適切に結びつける仕組みの構築が必要である。</p> <p>また、地域における支えあいの仕組み構築には、活動に参加したい人と担い手を求めている団体、個人の需要を的確に結びつける調整役の育成が最も重要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>地域のまちづくり活動の更なる活発化を図るための総合的な仕組み構築に向け、次の取組みを継続して行う。</p> <p>新たな活動の担い手の発掘・育成の強化を図るため、参加のきっかけとなる参加促進行事や実践的活動紹介から体験、仲間づくりまでを総合的に実施する研修である「まちづくり参加・入門教室」を継続するとともに、各講座の定員拡大や実施回数の増など、参加に広がりを持たせる取り組みを行う。</p> <p>市民どうしの支えあいによるふれあいがあふれる地域づくりを行うため、行事などの情報や団体の情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信するとともに、ボランティアをしたい人とボランティアを求める団体や個人との調整・結びつけを行う仕組みを構築する。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	13,000	10,000	10,000	10,000	43,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,000	10,000	10,000	10,000	43,000
予算	事業費	16,237	20,345	-	-	36,582	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	16,237	20,345			36,582
実績	事業費	12,746	-	-	-	12,746	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	12,746				12,746
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				77.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 既存事業と合わせて実施するなど、効率的な事業執行を行ったことにより、予算の節約を図った。							
[20年度] 元気なまちづくり支援事業において、多様な担い手によるまちづくりの推進を重点課題と位置付け、新たなまちづくりの参加促進策を拡充するため、区同士の連携を強め、効果的な事業展開を図る「10区共同事業」を設けて予算を措置した。							